

薬物依存者が社会復帰に取り組む活動をしている特定非営利活動法人（NPO法人）「三重ダルク」（津市）が三重県尾鷲市に拠点を構え、担い手が不足している農業や林業で汗をかきながら依存症を克服するプロジェクトを始め。従来の依存症治療は薬や精神的なケアが中心だった。働くことで得られる達成感を回復につなげる支援策は全国のダルクでも初めて。

芸能人の事件が後を絶たない薬物使用では、使用を断ち切ったとしても、社会的な信用を失ったり、後遺症が抜けなかつたりして社会復帰が困難な場合も多い。再就職先が見つからず再犯にはしる人もいる。プロジェクトでは、入所者に野菜の販売の売り上げなどから賃金も支払われ、自立を促す取り組みとして注目されそうだ。

薬物依存克服 農林業で

たりして社会復帰が困難な場合も多い。再就職先が見つからず再犯にはしる人もいる。プロジェクトでは、入所者に野菜の販売の売り上げなどから賃金も支払われ、自立を促す取り組みとして注目されそうだ。

活動費には、県のNPO活動基盤強化事業補助金を充てる。農作物の販売収益や作業を手伝った謝礼金から入所者の賃金を捻出する。

三重ダルク、尾鷲に拠点

年内にも尾鷲市内の空き家を改装し、スタッフと入所者が共同生活を送る。すでにミカン畑の所や偏見が強く、簡単に社会復帰できないのが実情。過疎地なら労働力と情。過疎地なら労働力と上げるほか、人材不足がして歓迎される上、地域深刻な地場産業の林業や漁業でも働き口を探す。入所者の回復にもプラス体験談を聞き合つミーティングとと呼ばれる、ダルクの通常のリハビリメニューもこなす。

「入所者の回復にもプラスになる」と話している。